

第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて（P53）【案】

資料3

【経緯】

近年の低年齢児保育増加は著しく、令和3年度4月入所申込では、0歳児の入所数が大幅に増え、このままでは、待機児童が発生してしまうことが想定される。このため、第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画の一部を下記のとおり見直します。

見直しの手順は次のとおりである。

- 1 過去の入園児の伸び率から①の量の見込の修正を行う。この修正により、①量の見込が②確保方策を上回ることになる（資料3-2、3-3の2ア）。これを、次の2、3で解消する。
- 2 施設の整備を行うことにより、令和3年度からの塩津保育園の定員の増加（0歳児＋3名、1・2歳児＋18名）及び令和4年度からの北部保育園の定員の増加（0歳児＋9名、1・2歳児＋6名）を②確保方策に反映する（資料3-2、3-3の2イ）。
- 3 令和5年度からの塩津北保育園跡地に予定されている小規模保育事業所の定員の増加（0歳児＋6名、1・2歳児＋13名）を②確保方策に反映する（資料3-2、3-3の2ウ）。

※2、3を反映させることによって、量の見込みを確保することができる。

※なお、蒲郡市公立保育園のあり方について（保育園グランドデザイン）（令和3年3月策定）において「低年齢児保育ニーズの増加の対応は急務とし、その解決方法として低年齢児の受け入れを重点的に行う施設について、民間事業者の活用も含め、整備を検討する。」と位置付けられていることもあり、小規模保育事業所も含めて量の確保を行っていくものです。

P53⑤

【現行の計画】（3号認定\_0歳児）

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①量の見込	63	68	73	78	82
②確保方策	66	68	73	78	78
特定教育保育施設	66	68	73	78	82
地域型保育事業	-	-	-	-	-
認可外保育施設	-	-	-	-	-
③過不足	3	0	0	0	0

P53⑤

【変更計画案】（3号認定\_0歳児）

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①量の見込	63	68	80	84	86
②確保方策	66	71	80	86	86
特定教育保育施設	66	71	80	80	80
地域型保育事業	-	-	-	6	6
認可外保育施設	-	-	-	-	-
③過不足	3	0	0	2	0



【現行の計画】（3号認定\_1・2歳児）

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①量の見込	518	541	548	567	584
②確保方策	600	600	600	600	600
特定教育保育施設	540	540	540	540	540
地域型保育事業	-	-	-	-	-
認可外保育施設	60	60	60	60	60
③過不足	82	59	52	33	16

【変更計画案】（3号認定\_1・2歳児）

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
①量の見込	518	541	567	597	626
②確保方策	600	618	624	637	637
特定教育保育施設	540	558	564	564	564
地域型保育事業	-	-	-	13	13
認可外保育施設	60	60	60	60	60
③過不足	82	77	57	40	11

【現行の計画】提供体制と確保の考え方

P53⑥

○既存の公立保育園と私立保育園・認定こども園、認定外保育施設で量の見込みをすべて確保する設定としています。

【変更計画案】提供体制と確保の考え方

P53⑥

○既存の公立保育園、私立保育園、認定こども園、認定外保育施設に加え、新たに小規模保育事業を展開し、量の見込みをすべて確保する設定としています。